

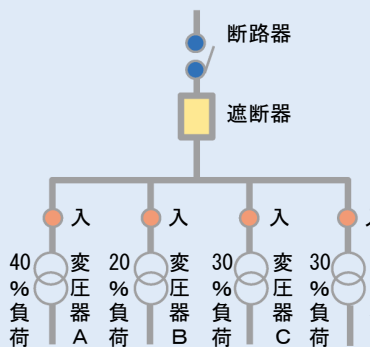
変圧器を効率よく使用できる負荷になっていますか？

変圧器は、電源が入っていれば無負荷損失が発生します。一般に変圧器は定格の60%出力付近で効率が最大となりますが、運用において、負荷が著しく低い場合は、負荷設備の集約化を図り、変圧器を効率よく運転することで省エネを図ります。

対策例

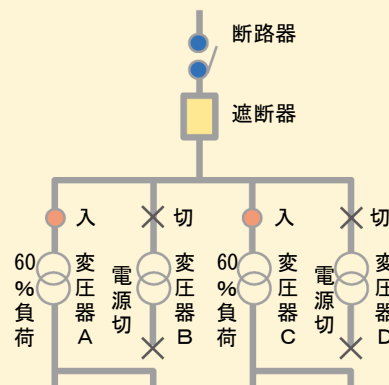
現状

全ての変圧器に電源が入っており、40%以下の部分負荷運転のため効率が低い

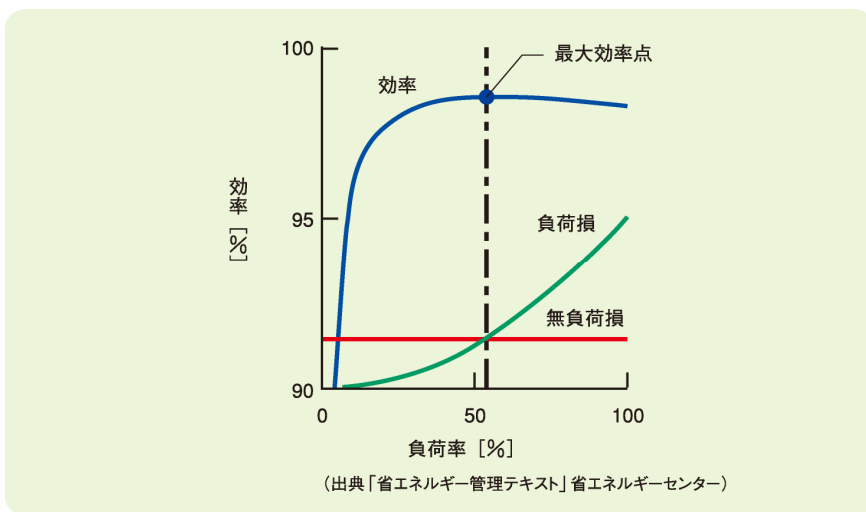


変更後

系統変更、負荷設備の集約化により効率の高い点で運転



■変圧器の負荷と効率の関係



参 考

変圧器の損失の特徴について

変圧器の損失		発生部と原因		特 徴
全損失	無負荷損 (鉄損)	鉄心	磁束を流すことにより発生	電源が投入されている負荷の有無に関係なく常時一定量の損失を発生する。
	負荷損 (銅損)	巻線	電流を流すことにより発生	負荷の大きさにより損失は変化する。一般に負荷の2乗に比例する。